

「令和3年議案第32号 令和3年度 飯田市一般会計予算（案）
について、市長は撤回のうえ別紙の通り組み替えを行い再提出する
ことを求める」の動議

上記の通り提出します。

令和3年3月17日

飯田市議会議員 後藤 荘一
古川 仁

飯田市議会 予算決算委員長 原 和世 様

「令和3年議案第32号 令和3年度 飯田市一般会計予算（案）
について、市長は撤回のうえ組み替えを行い、再提出することを求める」

1、組み替えを求める理由

昨年当初から日本に感染が始まった新型コロナウイルスは、今年に入ってから猛威を振るい、飯田下伊那も感染警戒レベルが一時5に達し、病床逼迫度が示されたり、少ない情報の中からも医療崩壊の危険性が感じられました。それが再び感染拡大が始まるとどうなるか非常に不安定なものを漂わせています。したがって、第一の理由として当2次医療圏としての飯田下伊那の医療、介護の体制も整えたり、ワクチンの混乱なき接種や、やはりクラスター抑止対策として、医療や介護、障害関連の従事者などの定期検査の社会的検査を充実させるなど、検査体制を充実させる必要があります。新型コロナ対策が依然優先される状況と考えます。

第二は、リニア本線工事については、大井川の水量減少問題の解決がなされない状況、各地での土砂崩落などの突発的事故、残土置き場不確定、そしてコロナ禍などで遅延が避けられない状況にあります。代替地整備事業は完成させなければならないとしても、少なくともリニア関連事業は急がず、今後の様子を見る必要があると考えます。

2021年度予算の中で、リニア駅周辺整備基本設計で示された見積り91億円に含まれない事業費がリニア推進事業費1億2千万円余、代替地整備事業費7億8千万円余が入っていると答弁されています。ここに91億円以外の起債も入っています。リニアは本体工事含め、矛盾の多い事業になっています。駅周辺整備事業91億円だけでなく今後どのくらい関連事業費が膨れていくか想像が付きません。飯田市の財政健全化の観点から見直しを望みます。

以上の理由から2021年度一般会計予算案の組み替えを求めます。

2、組み替えの内容

(1) 歳出について

2款1項17目リニア推進事業費の大事業10 リニア推進事業費中事業01 リニア推進事業費、中事業05 リニア駅周辺整備事業費、中事業07 リニア代替地整備事業費、中事業08 リニア用地取得事業費の削除。

(2) 歳入について

上記の財源となる一般財源、国県支出金、地方債、諸収入、寄付金、および基金繰入金の減額。